

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【土呂中学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 基礎的・基本的な知識・技能の習得状況について、習得が十分な生徒と習得が不十分な生徒で偏りが見られる。 <指導上の課題> 個別最適な学びのための時間や、自分の学習到達度をメタ認知する時間を十分に確保できていない。	⇒ 基礎的・基本的な知識・技能の習得が不十分な生徒に向けて、補習の時間をとったり、補助教材を配布する。【定期テスト前の放課後】 ・ルーブリック評価を用いて、目標と評価を具体的に示し、自分の学習到達度をメタ認知する機会を設ける。【各単元のまとめ】 ・スクリーンショットの「授業アンケート」を活用し、生徒自ら学習内容を振り返る場面を設けたり、教員が生徒の学習到達を確認し、個別最適な学びに向けた取り組みができるようにする。【各教科単元ごとに1回以上実施】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 自分の考えを表現したり、発表したりすることに苦手意識がある生徒が多い。 <指導上の課題> 生徒が自分の考えをまとめたり、発表をする活動の場面の設定が十分にされていない。	⇒ ・ルーブリック評価を用いて、まとめ方の見本を見せながら自分の言葉で内容をまとめる時間を設ける。【毎授業】 ・ICT機器や思考ツールなどを用いて、生徒が自分の意見をまとめるための手段を増やせるようにする。【各教科毎単元で実施】 ・各教科において、生徒が発表する活動をより多く設定する。【各教科単元ごとに1回は発表する活動を設ける】

⑤	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)